



肝ぞう通信

2024年度 第6号 《 irAE について 》

お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院1階
総合相談室

受付時間：
平日 9:00~15:00
土曜日 9:00~12:00
(第2・4土曜日除く)

豆知識

免疫チェックポイント阻害薬のニボルマブの開発に日本人が貢献し、ノーベル賞を受賞しています。

次回号

テーマ：
iPS細胞を用いた研究
について

発行責任者

東海大学医学部付属病院
肝疾患医療センター長
加川 建弘

irAE とは？

irAE とは、免疫関連有害事象のことです。がん治療に用いられる免疫チェックポイント阻害薬によって引き起こされる過度の免疫反応によるものなどが考えられており、炎症疾患や自己免疫疾患に似た独特な副作用が報告されています。

主な免疫チェックポイント阻害薬

主な免疫チェックポイント阻害薬は、

- ・イジユド® (トレメリムマブ)
- ・イミフィンジ® (デュルバルマブ)
- ・オプジーボ® (ニボルマブ)
- ・キイトルーダ® (ペムブロリズマブ)
- ・テセントリク® (アテゾリズマブ)
- ・ヤーボイ® (イピリムマブ)

です。

肝細胞がんに対しての免疫チェックポイント阻害薬は、

テセントリク®
イミフィンジ®
イジユド®(イミフィンジ®と併用)
があります。